

# 平成 22 年度 中学校第 1 回入学考査問題 (社会)

(その 1)

問題 次の文章をよく読んで、あとの問いに答えなさい。

みなさんはペンギンが好きですか。日本は、世界の国の中でも特にペンギンが好きな国といわれています。そのため、現在、約 100 の動物園や水族館で 3400 羽以上のペンギンが飼育されています。その飼育数は世界的にみても、非常に多く、いわば日本は「ペンギン大国」なのです。このように日本人は、ペンギンが大好きなのですが、それはどうしてでしょうか。みなさんが動物園や水族館で目にするペンギンは、ヨチヨチと歩くかわいらしい姿です。そうしたかわいらしさが魅力の一つなのかもしれません。では、もともと日本になかったペンギンが、いつごろから、またどのようにして日本人の心の中に入りこんできたのでしょうか。

①江戸時代の中ごろのある書物には、人のように立つペンギンという鳥がいて書かれています。おそらく、②貿易のために日本を訪れた外国人からペンギンのことを聞いたのではないのでしょうか。ところで、みなさんは「ペンギン」というと〈写真〉にもあるように、「冰山」や「南極」をイメージするではありませんか。しかし、ペンギンと一口に言っても、南極にすむコウテイペンギン、南アフリカにすむケープペンギン、③オーストラリアにすむフェアリーペンギン、南アメリカのチリにすむフンボルトペンギンなど非常に多くの種類のペンギンがいて、南極だけにすんでいるわけではありません。ですから、その書物に書き残されたペンギンは、南極にすむペンギンではなく、どうやらケープペンギンのようなのです。

このようにたくさんの種類のペンギンを、日本人はどうして「南極」と結びつけてしまうのでしょうか。それは 20 世紀の初めに④白瀬謹が率いて行った南極探検がきっかけなのです。彼らは南極でたくさんのペンギンを捕まえ剥製にし、またペンギンの映像も撮影しました。そうした剥製や映像が各地で人々に公開され、多くの日本人が実際のペンギンを知ることになったのです。このように日本人とペンギンの出会いは南極探検を通じたものだったのです。

そして、日本人の中でペンギンと南極の結びつきはその後強まっていきました。⑤昭和の初めごろになると、日本の多くの動物園や水族館でフンボルトペンギンやケープペンギンが飼育されるようになりました。南極からペンギンを連れてくることは当時の技術ではまだ難しかったので、比較的連れてくるのが簡単だった暖かい地域にすむペンギンが飼育されました。いわば、それらは南極にすむペンギンの代わりだったのです。ですから、暖かい地域にすみ、氷や雪を好まないペンギンでも、〈写真〉にあるような南極を思わせる施設で飼育・展示されました。それはあたかも全てのペンギンが南極にすんでいるかのような印象を日本人に与えることになりました。当時の動物園や水族館は、珍しい動物を展示し、来場者を楽しませることに重点が置かれていたので、ペンギンの正確な知識を伝えることはあまり問題にされませんでした。そうした展示のあり方は、⑥アジア・太平洋戦争の後あまり変わらないままでした。そして、⑦1950 年代以降には、実際に南極のペンギンが多く飼育されるようになり、ますますペンギンと南極が結びつけられるようになったのです。

このようにペンギンと日本人の歴史を振り返ってみると、私たちはペンギンのかわいらしさだけに注目をして、その種類や生態などには目を向けてこなかったことがわかります。現在、多くの動物が環境の悪化などを理由に絶滅の危機にあります。ペンギンのなかでもフンボルトペンギンが最も絶滅の危機にさらされているそうです。そうした状況のなかで、⑧日本の動物園や水族館でペンギンを担当する飼育員たちは、フンボルトペンギンを保護していく責任が自分たちにあると考えるようになってきました。そこで多くの動物園や水族館では、そのような状況を変えていくためには、来場者の一人一人の意識を変えて、保護運動を盛り上げていく必要があると考えるようになりました。ですから、ペンギンのかわいらしさを展示し、ただ来場者を楽しませるのではなく、正確な知識を伝えられるように展示を工夫しているのです。

みなさんも動物園や水族館に行ったときには、その展示の仕方にも注目してみてはどうでしょうか。

〈写真〉 1937 年の写真絵はがき

「名古屋市東山動物園 ペンギン鳥の冰山」



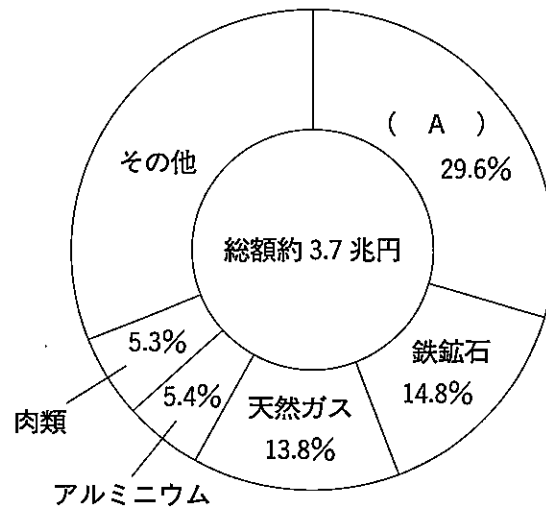
「冰山」を模したペンギン展示になっている

問1. 下線部①の時代に、<sup>まゑのりょうたく</sup>前野良沢らとともに外国の医学書を日本語に訳し、出版した人物の名前を答えなさい。

問2. 下線部②の「外国人」はオランダ人と推測することができます。なぜ江戸時代の初めごろに、江戸幕府がポルトガル商人の来航を禁止して、オランダ商人に貿易を認めたのでしょうか。その理由を説明しなさい。また、同じころ、長崎において、オランダ以外に日本との貿易が認められていたのはどこの国の商人ですか。国名を答えなさい。

問3. 下線部③について、次の《グラフ》は、日本がオーストラリアから輸入しているものを示しています。《グラフ》の中の ( A ) に入る適当なものを次のア～オから1つ選び、記号で答えなさい。

《グラフ》オーストラリアからの輸入金額の内訳 (2007年)



(『2009 データブック オブ・ザ・ワールド』より作成)

- ア. 石炭      イ. コンピューター      ウ. 石油      エ. 自動車      オ. 羊毛

問4. 下線部④の人物は秋田県出身です。2006年に秋田県の米の生産量は全国第3位、りんごの生産量は第5位でした。現在、米とりんごの生産量で上位2つの都道府県名をそれぞれ答えなさい。

問5. 下線部⑤の時期に起こった出来事として、正しいものを次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

- ア. 満州事変      イ. 第一次世界大戦      ウ. 東京オリンピック      エ. 韓国併合

問6. 下線部⑥の戦争の後に、日本国憲法がつくられました。日本国憲法には、経済的・社会的に弱い立場にある人々が、人間らしい生活を求めることができる権利が盛り込まれています。その中でも憲法第25条では、「生存権」と呼ばれる権利が定められています。その内容を解答らんという言葉につながるように答えなさい。

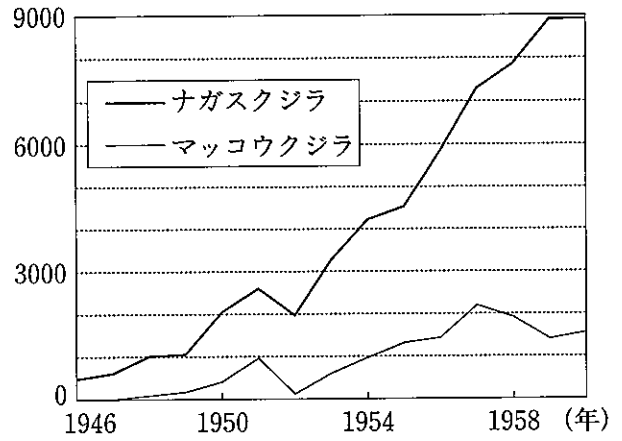
問7. 下線部⑦について、1950年代以降、実際に動物園や水族館で南極のペンギンが多く飼育されるようになったのはなぜですか。次の《資料1》・《資料2》・《資料3》からわかる理由を100字以内で説明しなさい。

《資料1》白瀬勲が率いた南極探検隊の記録

南極の海を進んでいると、まるでそろばんの玉を並べたように大きな丘が海一面にあらわれた。調べてみるとすべて鯨だったので驚いた。隊員の中には、このたくさんの鯨の間を本当に通り抜けることができるのか心配になる者もいた。それでも構わずどんどん進んでいくと、鯨の方も船を恐れたのか、通り道を開けてくれた。一時はどうなるだろうかと不安だったが、これでやっと安心することができた。

(板橋守邦『南氷洋捕鯨史』の一部をやさしく書き改めています)

《資料2》日本の南氷洋における鯨の捕獲数(単位:頭)



(国際捕鯨委員会と水産庁のホームページから作成)

《資料3》捕鯨船で連れて来たペンギンたち

アデリーペンギン



(川端裕人『ペンギン、日本人に会う』より)

コウテイペンギン



(川端裕人『ペンギン、日本人に会う』より)

問8. 日本の動物園などの飼育員が、下線部⑧のように考えるようになったのに合わせて、動物園などが果たすべき役割についての考え方も変化してきました。その変化とはどのようなものですか。本文と《写真》、次の《資料4》・《資料5》・《資料6》を参考にして、220字以内で説明しなさい。そのとき、フンボルトペンギンを事例として、なぜ飼育員が責任を感じたのか、またその責任をどのような活動で果たそうとしているのかについて必ずふれながら説明すること。

《資料4》ペンギン会議の発足

1989年に動物園などでペンギンを飼育している人たちが集まって、勉強会が開かれました。その場で、多くの飼育員たちが、ペンギンの飼育や展示方法などで悩みをもっていることがわかったのです。そのため、そこに集まった飼育員たちは、ペンギンに関する情報をいつもやりとりできるような場があればいいと感じたのです。こうして1990年に「ペンギン会議」(最初は「ペンギン飼育関係者懇談会」)が結成されました。「ペンギン会議」の目標の一つは、ペンギンに関する情報を互いにやりとりしながら、ペンギンの飼育の技術を高めていくことです。そのためにもペンギンに関する調査・研究を進めていくことが必要でし、ペンギンに関する資料をたくさん集めていくことも必要でした。そこで「ペンギン会議」はフンボルトペンギンがすみなりに遠征隊を派遣して、調査・研究を推進していくなどの活動を行っているのです。

(川端裕人『ペンギン、日本人に会う』の一部をやさしく書き改めています)

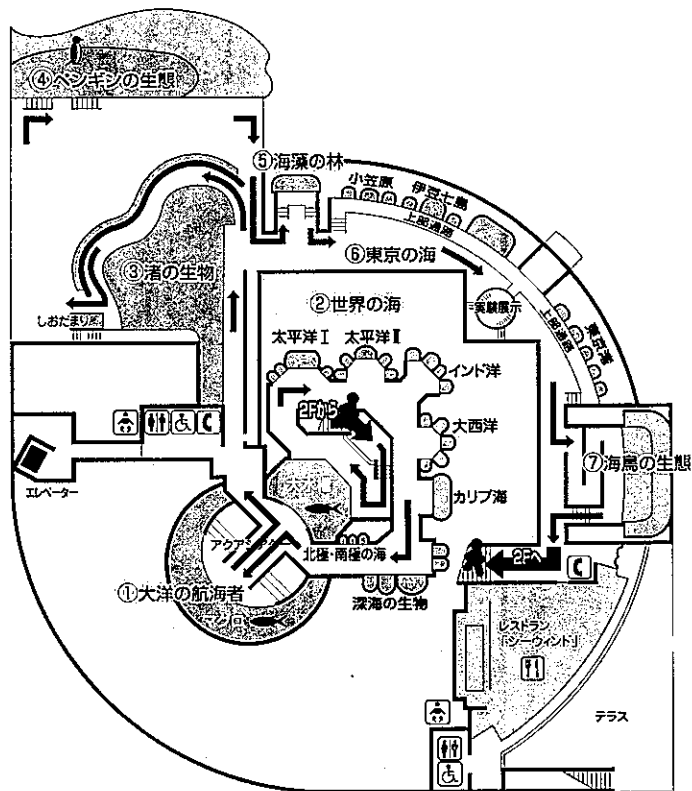
《資料5》フンボルトペンギンの数

野生の数
約12000羽(1996年)
日本の動物園などでの飼育数
約1200羽(1996年)
アメリカの動物園などでの飼育数
約230羽(1998年)

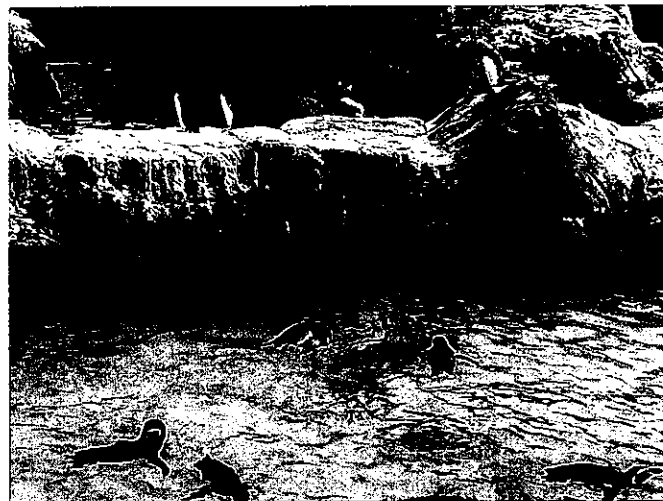
(川端裕人『ペンギン、日本人に会う』より作成)

《資料6》葛西臨海水族園のようす(2009年)

園内の案内図



泳ぐフンボルトペンギン



岩場にいるフンボルトペンギン



